

2021年3月22日

## 2020年度第4回事例検討会レポート

2月19日金曜日19時より東京TSネット第4回事例検討会が行われました。

今回もzoom開催となりましたが、障害のある方の支援に関わっている方を中心に、各地から20名近い方に参加いただきました。

2つの事例について、それぞれ参加者から事例提供者への質問がなされ、最終的に3グループに分かれて簡単なディスカッションを行い、それを全体で共有するという進行で行いました。

1つ目の事例は、窃盗を繰り返してしまう未成年の方に関するケースでした。それぞれのグループからは、医療的な問題について、時間をかけて見る必要があるのではないか、ストレスについて、ストレスを少ないほうが良い、本人の趣味、好きなことを聞く、細く長く関わってくれる人を探すなどの意見が出ました。

2つ目の事例は、軽度知的障害と統合失調症の診断のある方の事例でした。刑務所にも何度も入ったことがある方で、グループホームや保護施設に入っても気に入らないことがあると出てしまう方です。個別の質問では、手帳の等級、どういう罪名で逮捕されたか、働いていたことがあったかなどの質問がありました。その後グループに分かれて、それぞれのグループから、本人にとって、何が嫌で、何が良いのか、刑務所や拘置所の中での生活についてどう思っているか、生活歴を知りたい、お金の管理ができるのか、持病であるてんかんのコントロールについての意見が出ました。いずれのケースも家族など身近な人の存在が希薄で、愚痴や困ったことを気軽に言える人の存在がなかったように思います。障害だけでなく、疾患を抱えている方もおり、いわゆるセルフ・ネグレクトのような状況にある方は、信頼関係を少しずつ築くなど、時間が必要であることや、細く長く支援を続けるサービスがない、少ないことにも問題があるように思いました。